

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 24 号

第 24 週 (6月 8日 ~ 6月14日)

発行年月日:平成21年(2009年) 6月18日

発行 行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

#### 新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ 6 に引き上げ(WHO)

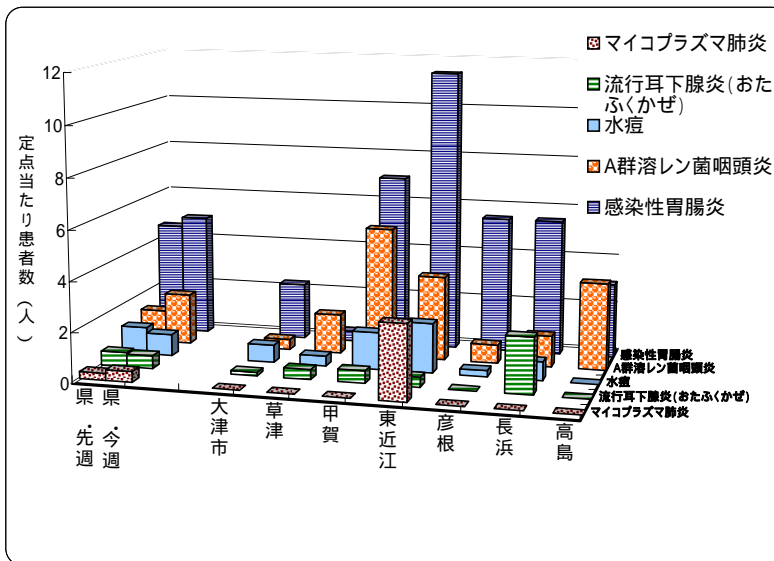
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数とほぼ同じです。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、伝染性紅斑(リンゴ病)、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

**新型インフルエンザについて、6月11日に世界保健機関(WHO)は警戒レベルをフェーズ5からフェーズ6に引き上げました。**

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、該当する疾患はありません。

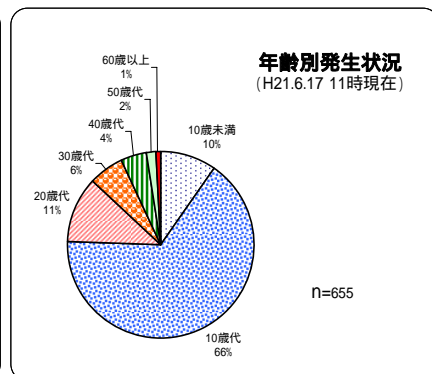
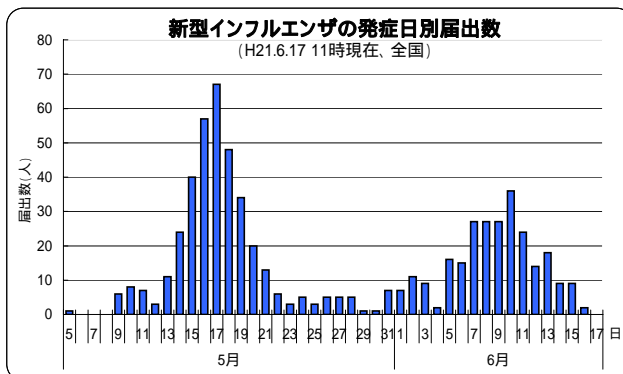
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名の届出がありました。

#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第24週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。A群溶レン菌咽頭炎は甲賀で再び増加しています。マイコプラズマ肺炎は東近江からの報告が多くなっています。

#### 新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況(厚生労働省発表資料より)



6月17日 11時現在における全国の新型インフルエンザの届出数は、30都道府県から655名となっています。また、性別では男性406名、女性249名となっています。発症日別および年齢別の発生状況については上記グラフのとおりです。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (24週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (24週)	全国 (24週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	123	11,605	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	81	<sup>(*)</sup> 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	3	684	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	22	0	43
	A型肝炎	0	0	60	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	1	1	2
	デング熱	0	0	29	2	104
	マラリア	0	0	24	1	56
	レジオネラ症	0	3	261	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	371	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	98	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	56	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	60	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	3	662	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	39	1	76
	梅毒	0	0	329	5	839
	破傷風	0	1	42	5	123
	急性脳炎	0	0	102	1	190
	風しん	0	2	89	2	309
	麻しん	0	1	405	39	11,015

\* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

\* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第24週(6/8～6/14) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 331例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 59例	細菌性赤痢 2例	腸チフス 1例	四類感染症: E型肝炎 1例	A型肝炎 5例	つつが虫病 4例	四類感染症: 日本紅斑熱 1例	オウム病 2例	Q熱 1例	レジオネラ症 13例	アメーバ赤痢 5例	梅毒 14例	ジアルジア症 1例	風しん 2例	麻しん 9例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 13例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例	ウイルス性肝炎 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例	破傷風 1例
-------------	----------------	------------------------	----------	---------	----------------	---------	----------	-----------------	---------	-------	------------	-----------	--------	-----------	--------	--------	-----------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------	-------------	--------

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第19～24週, 5/4～6/14)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	19週	20週	21週	22週	23週	24週	週					
	(5/4～)	(5/11～)	(5/18～)	(5/25～)	(6/1～)	(6/8～)	20	21	22	23	24	
インフルエンザ	1.02	0.65	1.94	0.77	0.58	0.27						
RSウイルス感染症	0.10	0	0.10	0.13	0	0.03						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0.16	0.35	0.32	0.45	0.26						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.00	1.87	1.84	1.32	2.06						
感染性胃腸炎	9.35	9.90	6.74	5.58	4.55	4.94						
水痘	1.71	1.23	1.45	1.48	1.10	0.87						
手足口病	0.10	0.29	0.32	0.19	0.45	0.35						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.10	0.23	0.06	0.16	0.13	0.19						
突発性発しん	0.35	0.32	0.23	0.35	0.55	0.32						
百日咳	0	0.03	0	0	0.03	0.06						
ヘルパンギーナ	0.16	0.19	0.42	0.39	0.35	0.32						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.42	0.74	0.29	0.48	0.58	0.52						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.38	0.38	0.13	0.25	0.38	0.25						
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0.14						
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.14	0.29	0.29	0.29	0.43						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

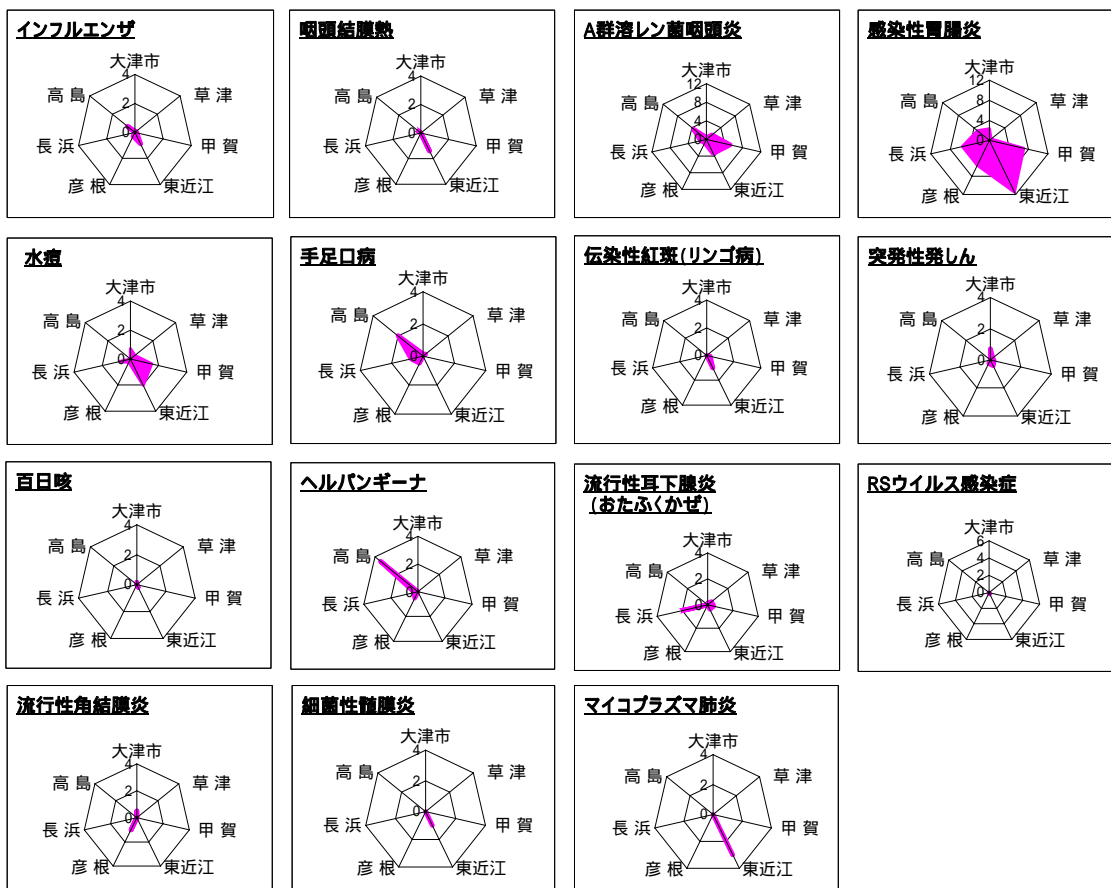
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第24週、6/8～6/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	0	
インフルエンザ	0.27	0.09	0.11	0.14	0.88	0.29	0	0.67		
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	0.26	0	0	0	1.40	0	0	0.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.06	0.43	1.60	5.25	3.40	0.75	1.25	3.50		
感染性胃腸炎	4.94	2.29	0.40	7.00	11.40	5.50	5.50	3.00		
水痘	0.87	0.71	0.40	1.50	2.00	0.25	0.75	0		
手足口病	0.35	0.14	0.20	0	0	0.50	0.75	2.00		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.19	0	0	0.25	1.00	0	0	0		
突発性発しん	0.32	0.71	0.20	0.25	0.40	0.25	0	0		
百日咳	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.32	0	0	0	0	0.50	0.25	3.50		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.52	0.14	0.40	0.50	0.40	0	2.25	0		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0.25	0.50	0	0	0	1.00	0	0		
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	3.00	0	0	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 2 4 6  
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----県全体では先週よりさらに少なくなり、3週連続して減少しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----草津、甲賀、東近江および高島で先週よりかなり増加しています。特に、甲賀の定点当たり患者数は5.25と多くなっています。

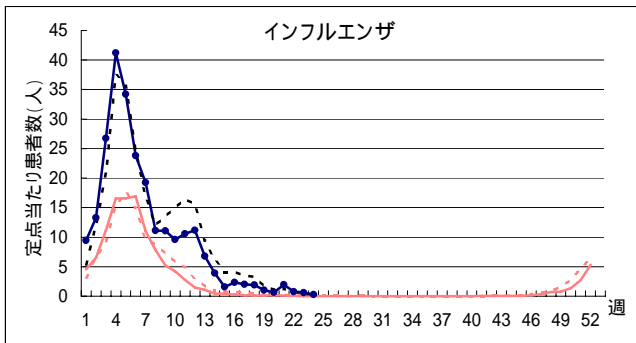
水痘-----県全体では先週より減少していますが、甲賀および東近江では先週よりかなり多くなっています。

感染性胃腸炎-----第19週以降(5/4～5/10)減少傾向を示していますが、甲賀および彦根では先週よりかなり増加しています。

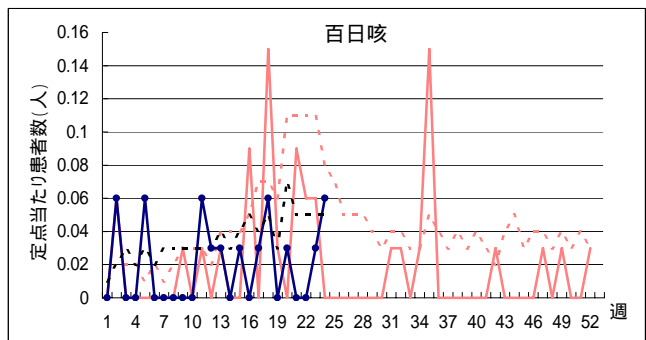
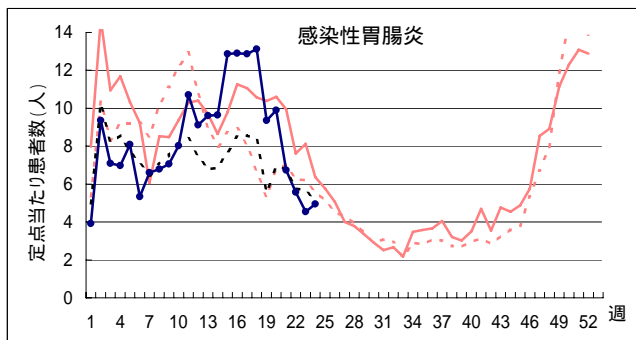
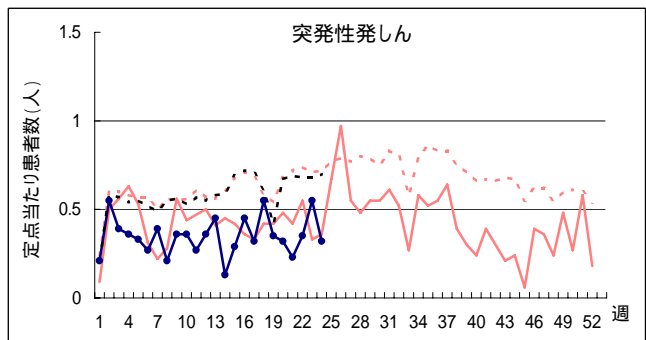
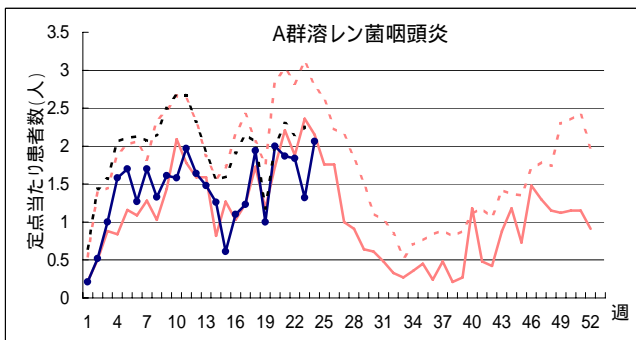
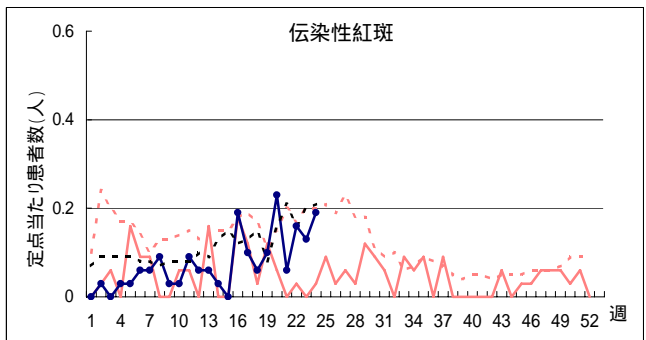
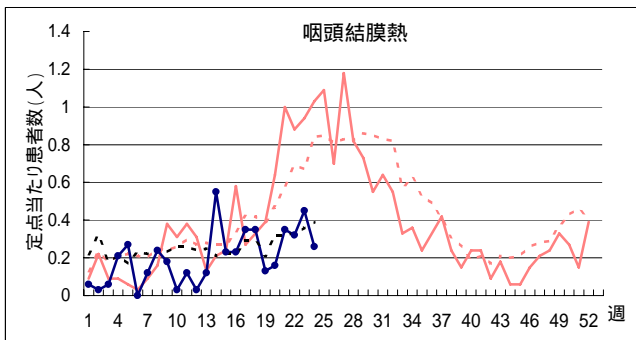
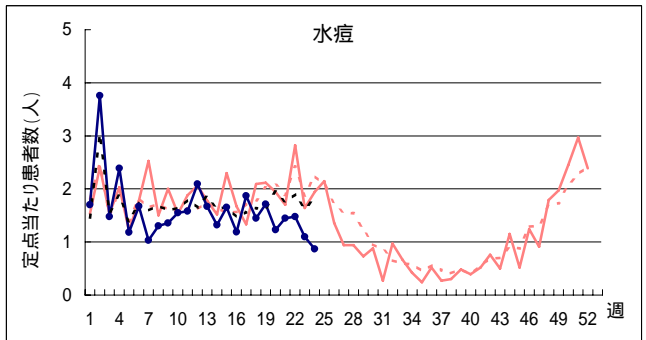
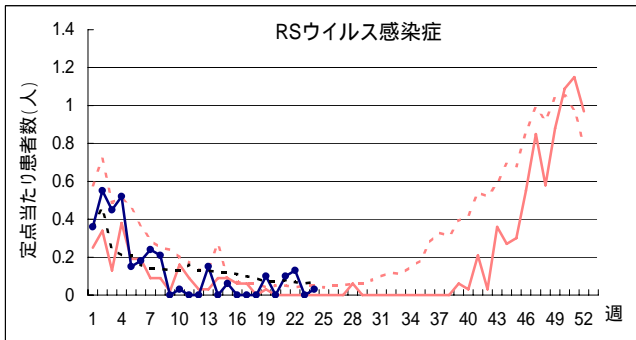
伝染性紅斑-----東近江では先週よりかなり多くなっています。

マイコプラズマ肺炎-----第21週以降(5/18～5/24)連続して報告されており、甲賀、東近江および長浜からの報告がやや多くなっています。

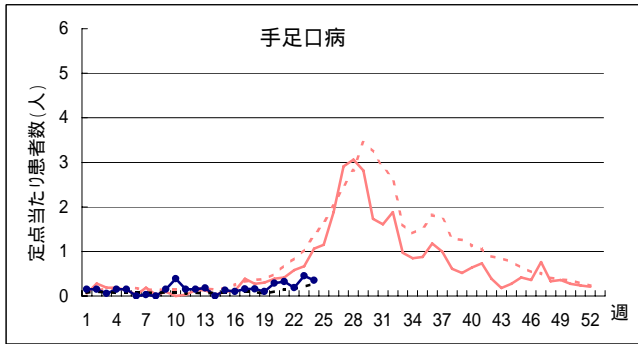
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第 24 週、H19.12.29 ~ H21.6.14)



H20 { 滋賀 (solid red line)  
       全国 (dotted red line)  
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
       全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第 24 週、H19.12.29 ~ H21.6.14)



H20  
 { 滋賀 ————  
   全国 ······  
 H21  
 { 滋賀 ————  
   全国 ······

